

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	平日定額使い放題サービス (サブスクリプション) [CAMPLIFER] のステップアップ事業
事業主体 (連絡先)	南信州キャンプセッション 上伊那郡中川村四徳 542
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	845,069 円 (うち支援金: 514,000 円)

事業内容

南信州7つのキャンプ場で使える平日定額使い放題サービス [CAMPLIFER] のステップアップとして、キャンプ場に Wifi を整備して、平日にワーケーションを含めた新たな交流人口を生み出し、その動向を調査する。また、環境啓蒙を通じてエリアブランディングを行う。

・インフラ整備

7つのキャンプ場に Wifi 機材を提供し、ワーケーションインフラを整備した。

・モニタリング

調査会社にユーザーアンケートと分析を依頼して、圏内の観光業界でも未開拓市場である、平日ユーザーの背景、動向を明確にする。

・イベント (環境マナー)

アウトドアユーザーの環境倫理啓蒙プログラム Leave No Trace を導入し講座を行う。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・インフラ整備

Camp lifer を活用してキャンプワーケーションに挑戦したユーザーが、年間で10名以上いた。また、SNS やメディアなどで取り上げられた結果、サブスクに加入しなくても、単発で利用するユーザーも増え、キャンプ業界では南信州=平日キャンプのサブスク=キャンプワーケーションというイメージが定着してきた。

・モニタリング

モニタリング情報を公開することで地域の観光業界の発展に寄与し、メディアへの認知も深めた。また、自分達が予想していた結果と違ったユーザー像が見えてきたので今後のマーケティングに役立つ。最高の成果として日経トレンド「ヒット予測」にランクイン。



【LNT 講座@千人塚キャンプ】

【目標・ねらい】

- ① ワーケーションインフラ整備
- ② 市場モニタリングレポート
- ③ 環境マナー啓蒙イベント
- ④ 上記によるエリアプロモーション

※自己評価 【 A 】

【理由】

社会状況もあり、ワーケーションユーザーに特化できるような展開にはならなかったが、モニタリングの結果、別のユーザー像が明らかになったことは収穫だった。

Leave No Trace の講座は非常に注目され、参加者の満足度の高いものとなった。

補助金の直接的な効果ではないが、この事業を展開していった結果、予想を超える成果として日経トレンド「ヒット予測」にランクインしたことは快挙だった。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・イベント

アウトドアユーザーの環境倫理啓蒙プログラム **Leave No Trace** を導入し加盟キャンプ場と地域のアウトドアツーリズムに関わるスタッフを教育したことで、今後、エリアの各観光拠点で環境マナーを啓蒙できる体制が整った。

今後の取り組み

Camp lifer の事業は、話題性のあるサービスとして全国的な注目を浴びた。一方、ユーザーは回を追うごとに、話題性だけでなく、リアルに使っていただけるユーザーへと変遷していき、このサービスにしっかりとフィットするユーザーとの結びつきが強くなった。補助金のお陰もあり、インフラやオペレーションが整ってきた。

今後は、補助金なしで、この事業をできるだけ長く継続していき、今回の事業で得ることのできた知見を元に、価格戦略、マーケット戦略などを見直していきたい。2022年春からのシーズンも既にリピーター6名を含む30名ほどの申し込みをいただいている。

南信州キャンプセッションのミッションは、アウトドアツーリズムを地域の産業として根付かせるための、外部へのエリアプロモーション、内部の横の繋がりの強化であるため、今後は、**Camp lifer** の売り上げを活用して、補助金なしでそのような事業に本腰を入れて活動を継続していく。エリアとしてさらにレベルアップするため、**Leave No Trace** も、講座を補助金なしで継続していく予定。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。